

《共通科目》

授業科目名	看護政策論 <i>Nursing Policy</i>			担当教員	田村 やよひ、柳井 圭子 倉岡 有美子
開講年次	1年後期	セメスター	2	時間数(単位数)	15(1)
必修選択	選択	授業形態	講義	使用教室	
授業の目的	高度実践看護師には保健医療福祉サービスの質の向上に向けた活動を推進することが求められる。特に専門看護師には、ケアシステムの改善等を通して看護実践を向上させる活動が期待されている。そのための必須の知識である現行諸制度を批判的に検討し、社会構造の変化、国民のニーズの変化に合わせて、看護に関する新たな政策提言ができるよう基本的能力を育成する。				
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 看護政策の決定過程について理解を深め、多くのパワーが絡み合う中で看護職者として政策決定過程に参画するための方法を説明できる。 2. 看護政策の重要課題を取り上げ、その背景、政策内容、政策評価などを看護の研究と関連付けながら理解し、検討・考察する。 3. 看護に関する現行諸制度を変革するための提案を行い、実現に向けた方略を考える。 				
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1回 政策決定過程と看護職者の関与 (田村) 政策と看護の関係、政策決定過程の概観とそれに看護職者がどう参画できるか等、事例を通して検討し、看護政策への理解を深める。 2回 准看護師制度 (田村) 准看護師制度について、制度創設時の状況、医療・看護の発展過程での役割、当事者や雇用者の立場からの制度への見解など、多面的・批判的に検討し、将来を展望する。 3回 外国人看護師の導入 (田村) EPAによる外国人看護師の我が国への導入について、その背景と制度の現状、課題等を検討し、将来を展望する。 4回 看護師の特定行為研修制度 (倉岡) 5回 診療報酬制度と看護職者の関与 (倉岡) 6回 遠隔診療と看護師による死亡確認 (柳井) 7回 遠隔診療と看護師による死亡確認 (柳井) 8回 まとめ—私の看護政策の提案 (田村、柳井、倉岡) 看護の質の向上に向けて、関心のある政策課題を取り上げ、新たな提案を行い、その実現方略を検討する。 				
学習方法	授業は講義と受講者によるプレゼンテーション、全体討議で進めます。講義内容に関連した事項について、提示する文献・資料等を読み、プレゼンテーション内容を準備して授業に臨んでください。				
オフィスアワー	メールで事前に連絡をとってください。 田村：y-tamura@jrckicn.ac.jp 柳井：k-yanai@jrckicn.ac.jp 倉岡：y-kuraoka@jrckicn.ac.jp				
テキスト	特に指定しません。				
参考文献	井部俊子；中西睦子：看護制度・政策論。東京，日本看護協会出版会，2015。 田村やよひ：私たちの拠りどころ 保健師助産師看護師法 第2版。東京，日本看護協会出版会，2018。 野村陽子：看護制度と政策。東京，法政大学出版局，2015。 見藤隆子、石田昌宏他：看護職者のための政策過程入門 第2版。東京，日本看護協会出版会，2017。 看護行政研究会編：看護六法 平成30年度版。東京，新日本法規，2018。 その他、適宜紹介する。				
評価方法	授業への参画（プレゼンテーション、討議）：50%，課題レポート：50%				